

手話にチャレンジ Vol. 2
「災害時は助け合おう」

障がい福祉課 (本庁第2庁舎内) ☎ 88 - 5262 ☎ 88 - 5283

だれもが社会参加できる、こころ豊かで住みやすい丹波市をめざすため、手話を広める活動を実施しています。今回のテーマは「災害」。災害時、耳の不自由な人は、災害の状態や避難方法・避難場所についての情報をなかなか得られません。みんなで手話に挑戦し、いざという時に備えましょう。

地震



手のひらを上に向けた両手を同時に前後に揺らす

台風



指を広げた両手を、右上方から左下方へ向かって円を描く動作を繰り返す

避難



両手こぶしを右上にさっと上げる

警報



握った左手を胸におき、親指と人差し指を立てた右手を前へ出す

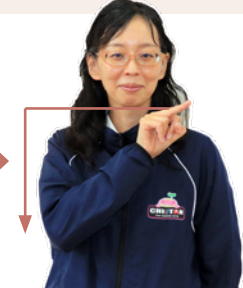
住民センター



両手を握り、両ひじの位置まで真下に下ろす (「住む」の表現)



親指と小指を立てた両手を揺らしながら左右に開く (「人々」の表現)



中指を立てて右へ動かし、直角に下ろす (指文字の「せ」の表現)

病院



左手首に右手の人差し指と中指の指先を当てる



両手の手の平を向かい合わせ、四角い建物の形を描くように上に上げ、手の甲を上にして閉じる

マスク



両手の親指と人差し指でマスクの形を示し、口元に当てる

12月3日～9日は「障害者週間」です。障がい者の福祉についての関心と理解を深めることを目的に、市内の公共施設などで啓発グッズを配布します。ぜひ手にとってみてください。





丹波竜フェスタ 2020 開催 「角竜の謎を追え！」



関 恐竜課 (丹波竜化石工房ちーたんの館内) ☎ 77 - 1887

日本の恐竜研究の第1人者である、北海道大学総合博物館副館長の小林快次先生の基調講演をはじめ、恐竜研究者によるシンポジウムや恐竜バルーンアート、グルメ屋台など、楽しさ盛りだくさんのイベントを開催します。

■とき / 12月6日(日) 午前10時～午後3時
 シンポジウムは午後0時50分～3時30分

■ところ / 丹波竜化石工房ちーたんの館周辺

■シンポジウムについて

先着160人の事前予約制です。詳しくは、恐竜課まで問い合わせるか、ホームページを確認ください。



ホームページ

■そのほかのイベント / 化石発掘体験・ちーたんや恐竜のワークショップ

■感染予防対策 / 会場をバリケードで規制し、混雑状況により入場制限を行う場合があります。また、検温やマスクの着用、来場者カードの記入などへのご協力をお願いします。



男女共同参画センターからのお知らせ



関 男女共同参画センター (市民プラザ内) ☎ 82 - 8684

◇第2回女性のためのチャレンジ相談

就職や起業・在宅ワーク・地域活動などについて、専門相談員がライフプランに沿ったアドバイスをします。

■とき / 12月1日(火) ①午前11時～②午後1時～③午後2時～

■対象 / 市内在住・在勤・在学の女性

■相談員 / 社会保険労務士 藤原寛子さん

■定員 / 各時間帯1人 ※先着順

■申込期限 / 11月27日(金)

◇子育てママのステップアップ講座

子育てと仕事の両立を目指す女性を応援し、自分らしいライフキャリアを考える連続講座を開催しています。今回は、「たんばの女性☆応援

援カフェ」の特別プログラムとして、ゲストを迎えて交流します。ゲストはパラグライダーをきっかけに丹波市に移住し、移住相談窓口の相談員やハンドメイド作家として活動している菅沼加奈子さんと、「農」のある暮らしに憧れて丹波市に移住し、子育てと会社勤めを両立しながら、地域活動にも参加する高野道子さんです。

■とき / 12月12日(土) 午前10時30分～正午

■テーマ

「好きなこと・やりたいこと×生き方・働き方」

■ゲスト / 菅沼加奈子さん、高野道子さん

■定員 / 会場：15人、オンライン：10人 ※先着順

■申込期限 / 12月9日(水)

◇各事業共通事項

■会場 / 市民プラザ

■託児 / 7日前までに要予約。1歳半～預かり可